

# 京奈和自動車道（大和北道路）に関する環境影響評価方法書の概要

## 1. 京奈和自動車道（大和北道路）の目的及び内容

### （1）目的

京奈和自動車道は、大和平野を南北に縦貫して京都と和歌山を結ぶ延長約120kmの高規格幹線道路で、既存の高速道路及び主要国道と連携することで相互のネットワークを形成し、近畿大都市圏での時間短縮を図るとともに京都～奈良～和歌山の拠点都市の連携強化を図る役割を持っている一般国道24号の自動車専用道路です。

京奈和自動車道（大和北道路）は、京奈和自動車道の一部で、既に供用中の京奈和自動車道木津インターチェンジと西名阪自動車道間を連結することにより、一般国道24号の渋滞緩和、交通事故の減少、走行時間の短縮、定時性確保など地域の活性化に寄与することを目的としています。

### （2）内容

京奈和自動車道（大和北道路）の設置に係る事業は、図 - 1 に示す道路事業実施区域において行われることが想定され、その内容は表 - 1 に示すとおりです。

表 - 1 京奈和自動車道（大和北道路）の内容

事業の種類	一般国道（自動車専用道路）の新設
延長	延長：約12km
車線数	4車線
設計速度	80km/時

### （3）基本的な道路構造

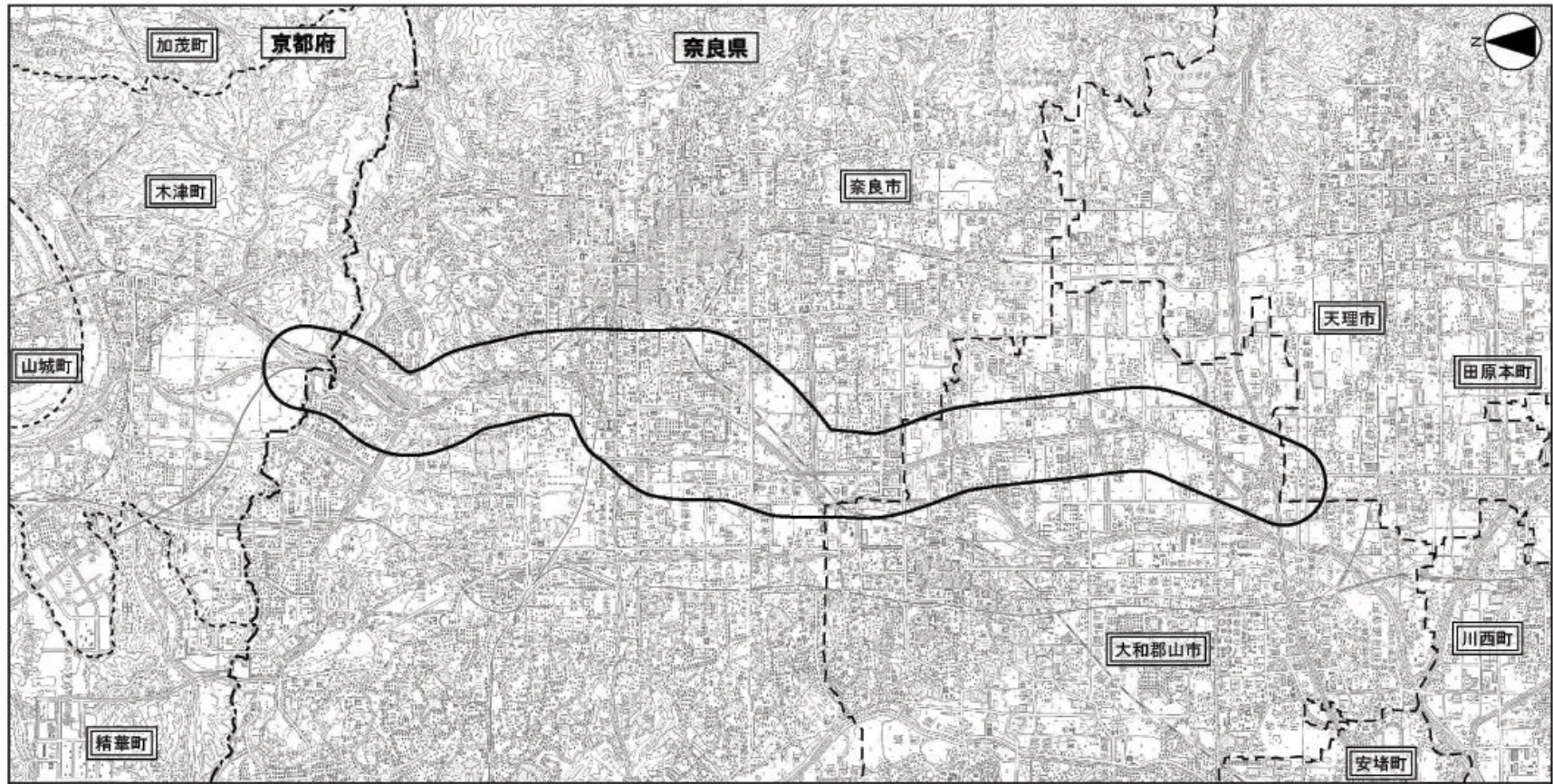
嵩上式（盛土構造、高架構造）、掘割式（切土構造、半地下構造）、地下式（トンネル構造）、地表式（平面構造）としています。

トンネル内の換気をするため、換気塔の設置を計画しています。

## 2. 環境影響評価の項目

京奈和自動車道（大和北道路）の環境影響評価については、環境影響評価法（平成9年6月法律第81号）、奈良県環境影響評価条例（平成10年12月奈良県条例第11号）に基づき実施することとしています。

また、環境影響評価の項目については、基本的な道路構造に地下式や換気塔の設置を含む計画であるという事業特性や、道路事業実施区域及びその周辺に住居等や多くの文化財が存在するという地域特性を踏まえて、表 - 2 に示すとおり、影響要因の区分ごとに必要な環境要素の区分を選定しました。また、各環境要素ごとに調査、予測及び評価の手法について、表 - 3 にまとめています。



凡例



- 
 : 道路事業実施区域
- 
 : 道路事業実施区域及びその周囲

図-1 道路事業実施区域

表 - 2 京奈和自動車道（大和北道路）の環境影響評価の項目

環境要素の区分		影響要因の区分	工事の実施				土地又は工作物の存在及び供用					
			建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両	切土工等又は既存の工作物の除去	仮設工作物の設置及び撤去	道路（地表式又は掘割式）の存在	道路（嵩上式）の存在	道路（地下式）の存在	自動車の走行	休憩所の供用	換気塔の存在及び供用
大気環境	大気質	二酸化窒素										
		浮遊粒子状物質										
		二酸化硫黄										
		粉じん等										
	強風による風害											
	騒音											
	振動											
	低周波音											
水環境	水質	水の濁り										
		水の汚れ										
土壌に係る環境 その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質										
	その他の環境要素	日照阻害										
動物		重要な種及び注目すべき生息地										
植物		重要な種及び群落										
生態系		地域を特徴づける生態系										
景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観										
人と自然との 触れ合いの活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場										
文化財	文化財及び埋蔵文化財包蔵地											
	地下水											
廃棄物等		建設工事に伴う副産物										

注：印は省令において、また、印は奈良県条例において標準項目とされている環境要素のうちで選定するものを示しており、印は標準外項目として選定するものを示しています。

